

学校教育目標
自らの力で問題を解決する実践力と地域に貢献できる創造力豊かな人づくりを目指す

重点目標
① 生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめのない安全で安心な学校づくりに向けた取組の充実を図る ② 各教科の指導、進路学習や就業体験等を通して、自己実現に向けたキャリア教育の充実を図る ③ 基礎知識の定着、資格取得、生徒会や部活動などの指導の充実を図る ④ 長期休業や放課後などに学習支援を行い、教科指導の充実を図る ⑤ 学校評価、授業評価のアンケート結果を生かし、授業改善と授業力の向上を図る



評価の内容					
領域	対象	評価項目	評価の観点(活動目標)	評価 (A・B・C)	コメント(具体的にお願いします)
教育活動	教務	行事運営の円滑な推進	各種行事について年間計画を作成し、円滑な実施ができたか	A	各担当係・委員会と連絡を取り、変更時の対応を含め、各行事を実施できている。
		地域に根ざした学校づくりにつなげる機をとらえた情報発信	学校ホームページ等による効果的な情報公開・提供ができたか	A	行事の都度、池工日誌を更新し情報発信に努め、充実した内容になっている。
			家庭との連携がスムーズにできたか オクレンジャーの活用及び報告・連絡・相談等	B	コロナ関連の学級・学年閉鎖等の緊急連絡は無く、学年通信や家庭通知の配信を行った。昨年度同様に修学旅行隊の一日の行動報告を行うことができた。
		安全対策の強化	危機管理マニュアルを周知・理解することができたか	B	内容の見直しを行い、緊急時の生徒、教職員の食料等の備蓄を整備することができた。
		校内学習環境の整備	生徒が落ち着いて学習に取り組める環境を整えることができたか	B	渡り廊下やトイレ前に滑り止め防止マットの設置や網戸の設置・固定、体育館屋根の改修等で学習環境が昨年度より充実した。
	進路指導	一人一人に合わせたキャリアの醸成	進路実現に向けた具体的かつ実践的な取り組みができたか	A	計画的に進路講話・ガイダンス・企業説明会を行い、進路実現に取り組んだ。
		基礎学力の定着	長期休業や放課後などに学習支援を行い、学び、考え、成し遂げる習慣が身についたか	A	学年と協力して、基礎力診断テストの事前学習や0時限の学習・補習を計画的に行うことができた。
		資格取得に向けた指導	実践的で創造的な技能・技術の向上 資格取得に向けた支援ができたか	B	進路学習の中で資格取得の重要性を伝えて実践するように促した。
	生徒指導	安全・安心・充実した高校生活ができる学校づくり	交通マナーやエチケットの継続的な指導ができたか (自転車、交通ルールの遵守等)	B	HRや全校集会でマナーやエチケットを呼びかけているが、徹底するまでには至っていない現状である。
			いじめ 問題行動 不登校への支援 職員の連携・情報共有ができたか	B	諸問題について職員全体への情報共有に努めた。職員間の連携については課題が残った。
学校整備	生徒会指導	生徒会活動・行事等の企画運営	主体的・積極的な取り組みとしての活動を支援できたか	A	生徒たちが考えたことを実現できるよう支援できた。行事等を円滑に進めるためのさらなる支援を図ることが今後の課題である。
		日常生活の充実	基本的な生活習慣を身に着ける支援ができたか(挨拶・制服のきこなし等)	B	各学期の交通安全運動にあわせてあいさつ運動を行った。制服着こなしチェックを2回実施したが、継続していく方法を探していきたい。
	環境整備	校内外の環境美化	毎日の清掃や校外朝清掃等を通して社会適応力の向上を図ることができたか	B	日常の清掃はしっかり行えている。校外朝清掃も多くの生徒が参加しそれぞれ活動できた。また清美委員生徒によるモップ交換やゴミ分別が実践された。次年度はさらに定着させることを課題として取り組みたい。
			授業公開や研究授業を実施し、地域や保護者の声に耳を傾けながら、授業改善や教員の指導力向上が図れたか	A	公開授業のみならず、多くの個別見学希望にも柔軟な対応ができ、目標を概ね達成することができた。公開時期や方法なども含め、更なる改善や向上を目指したい。
	開かれた学校づくり	地域と連携した協働的な学び	中学生や保護者が本校の教育内容に興味・関心を持ち、本校受検につながるような情報発信を工夫できたか	A	ホームページに学校行事の写真を多く掲載し、youtubeを活用した学校生活動画も公開するなど、中学生や保護者に学校の様子がより一層伝わるように心がけ、興味関心を持ってもらうことができた。さらに工夫を重ねていきたい。
			工業科の魅力を伝えるため、中学校訪問や進学説明会等の企画および内容について一層の充実が図れたか	A	本校生徒が中学校に訪問して説明するなどの工夫を行い、中学生に寄り添った説明を実施することができた。引き続き魅力ある発信方法を模索していきたい。
			授業アンケートなどから授業改善する工夫を試みることでできたか	B	観点別評価から授業を振り返ったり、匿名性を担保したアンケート結果を真摯に受け止めて自己研鑽に努めた。
	その他	職員の資質向上	校内外の研修会などに参加し、成果や情報を共有することができたか	B	研修会参加後の報告会やSCIによる研修会等を実施し、情報共有に努めることができた。